

[関連イベント]

申込み・お問合せは
☎0422-22-0385(吉祥寺美術館)

01 成蹊学園の榊並木散策&スケッチの会

江藤純平、大津鎮雄が描いた武蔵野の榊並木に思いを馳せながら、成蹊学園構内の風景をスケッチしてみませんか？

講師：坂口寛敏氏

(美術家、東京藝術大学名誉教授、武蔵野文化生芸学習事業団理事)

日時：10月8日(日) 10:00~12:30

会場：学校法人成蹊学園 構内

定員：15名(事前申込制)

費用：300円

申込：9月20日(水) 10:00より電話にて受付

◎お好みの画材を持参ください。雨天時は別プログラムとなります。
(詳細は受付時)

02 トークイベント 「江藤純平と大津鎮雄が描いた〈風景〉」

江藤純平と大津鎮雄の風景表現の特徴や作品の見どころなどを紹介します。特別ゲストも！

解説：展覧会担当学芸員

日時：10月15日(日) 14:00~15:00

会場：吉祥寺東コミュニティセンター

定員：30名(事前申込制・参加無料)

申込：10月1日(日) 10:00より電話にて受付

03 担当学芸員によるギャラリートーク

江藤純平と大津鎮雄の作品を3点ずつピックアップし、皆さまとお話をしながら鑑賞します。

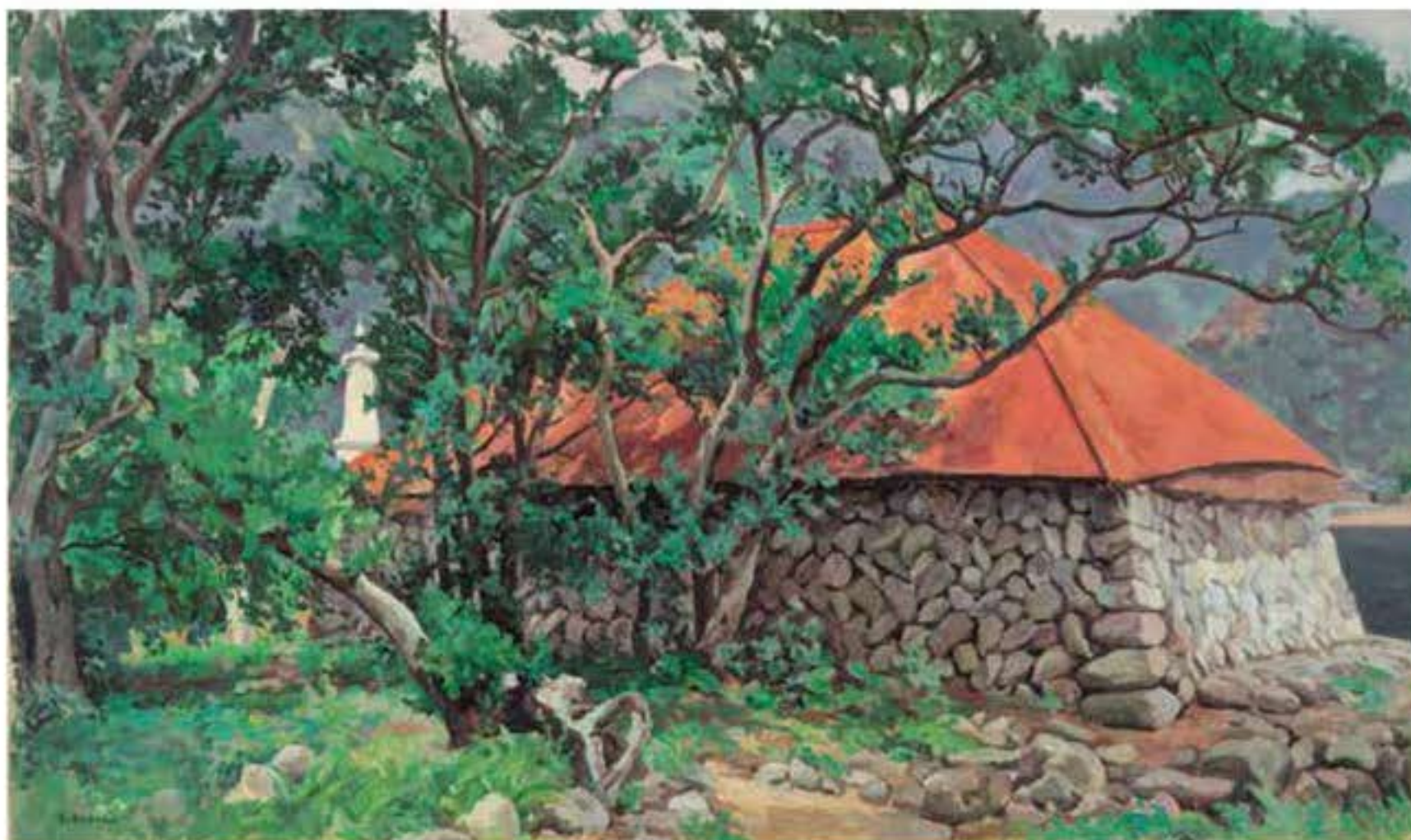
日時：①9月30日(土) 11:00~11:45

②10月27日(金) 18:00~18:45

①②で異なる作品を取り上げる予定です。

会場：吉祥寺美術館 企画展示室

定員：各回10名程度(予約不要、要入館)



大津鎮雄《榊並木》1969年(武蔵野市蔵)

武蔵野市ゆかりの洋画家、江藤純平(えとう・じゅんぺい 1898-1987)と大津鎮雄(おおつ・しずお 1920-2008)の風景表現に着目します。

江藤純平は穏健な人物表現で知られますが、風景を題材とした作品も多く、戦後は陽光まばゆい小豆島の風景を描いて高く評価されました。大津鎮雄は重厚かつ特徴的な筆致で国内外の風景を追究、1960年代以降に取り組んだヨーロッパの風景は、彼の代名詞ともなりました。

歳は20以上離れているふたりですが、時を同じくして武蔵野市に暮らし、日展で活躍したほか、武蔵野文化事業団(当時)の役員をつとめるなど共通点は多く、とくにふたりがフランスの画家P・セザンヌを敬愛していたことは特筆に値します。

今回は、武蔵野市が所蔵する大作のほか、スケッチや関係資料など、約40点によって江藤純平と大津鎮雄の仕事を紹介します。ふたりはそれぞれ「風景」を通してなにをあらわしたのでしょいか。ふたりがおとすれたさまざまな場所にも想いを巡らせつつ、「風景を描く」ということの意義を、感じただければ幸いです。

江藤純平／大津鎮雄
風景という
あらわれ

2023
9/23 [土祝] - 11/5 [日]

*休館日 9月27日(水)・10月25日(水)